

区分

B 地方中心都市など
(人口10万人以上の自治体)

時間的交通空白の解消

他分野による交通事業の活用

商業・農業
×交通

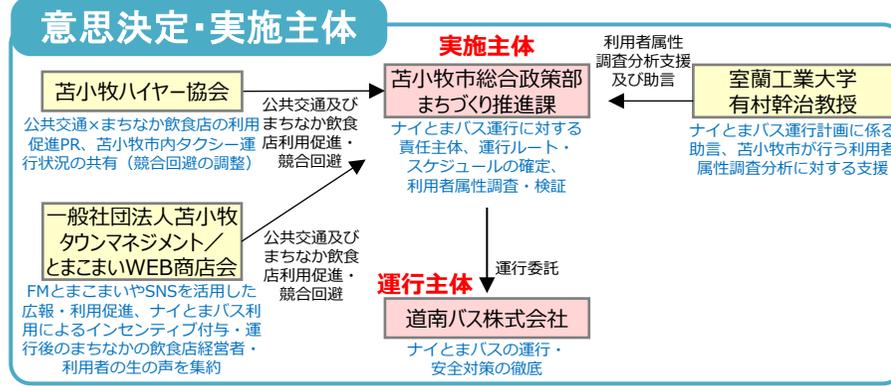
観光・まちづくり
×交通

対象地域

- 地域：北海道苫小牧市
- 人口：170,113人
- 世帯数：80,130世帯
- 高齢化率：29.7%
- 面積：561.58km²

背景・お困りごと

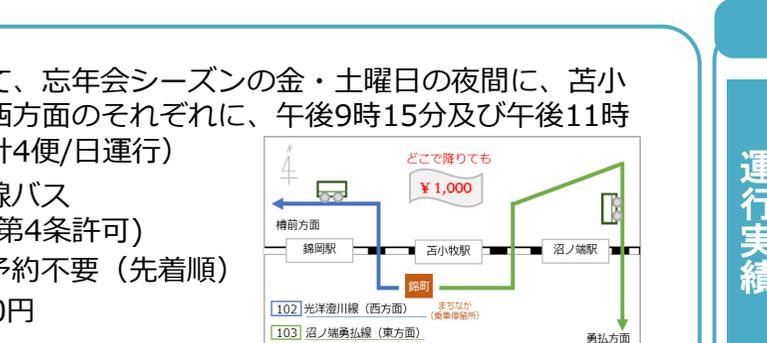
- タクシー運転手の高齢化に加え、酔客対応等の負担がある夜間業務の敬遠により、**特に忘年会シーズンは深刻なタクシー不足が毎年発生していた**
- 市内路線バスの最終便が午後9時台と早く、2次会以降の時間帯ではタクシー以外の公共交通がないため、特にまちなかから遠方に居住する方の2次会以降の参加を諦めざるを得ない状況が生じており、**ナイトタイムエコノミーの活性化のために夜間の移動手段の確保が重要な課題であった**



実施内容

「ナイとまバス」として、忘年会シーズンの金・土曜日の夜間に、苫小牧駅付近から東方面と西方面のそれぞれに、午後9時15分及び午後11時発の路線バスを運行(計4便/日運行)

- モード：路線バス(道路運送法第4条許可)
- 予約方法：予約不要(先着順)
- 料金：1,000円



概要

- ナイトタイムエコノミー活性化のため、市内飲食店関係者と連携し、**ポスター掲示、チラシ配布等の広報に協力をいただいた**
- 乗客の安全を最優先に、寝過ごし、乗客同士のトラブル、嘔吐等、**酔客に起こりうる事態を想定した対策を徹底した**
- 通常の路線バスとタクシーの中間の価格で、かつお札一枚で収めやすい運賃を設定
- 既存バス路線を活用し、運行時間帯を延長する形で運行した
- 午後9時台及び土曜の利用者は少ないことが明らかになった

重要ポイント

工夫・

運行実績・成果

- 運行期間：2024/12/20,21,27,28(年末の金・土曜)
- 利用者数：101名(16運行)
- 平均乗合人数：6.1人/1運行

収入	101,000円	(内訳 運賃収入:101,000円)
支出	初期費用	0円 (既存バス路線・車両活用のため)
	ランニングコスト	704,000円 (運行費用)
損益	▲603,000円※苫小牧市公共交通協議会が負担(共創・MaaS実証プロジェクトを活用)	

成果

- 利用者への聞き取り調査では、「この時期はタクシーがつかまりにくいため、普段は近場で済ませていたが、このバスを知り、まちなかに来た」、「今日は二次会まで楽しめた」という声が多く、**外出機会の増加やまちなかの活性化に寄与した**
- タクシー30~50台分(計101人分)の輸送を補完し、**夜間のタクシー不足解消と、利用客の帰宅不安払拭に貢献した**(特に金曜午後11時台において効果が顕著であった)

今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令(予定)：道路運送法第4条許可>

- 実装化に向けて、公共交通協議会においてタクシーと競合しない運賃体系を検討する
- 実証結果を検証し、既存路線への組み込みによる本格運行が可能かどうかを道南バス株式会社と検討した上で、実装化を目指す